



SOH TOH SHUN JYŪ

總和会三綱領

- 1、宗門の興隆を図り、宗政の運営に関し、公正妥当なる施策の実現を期すること。
- 2、本宗の伝統性格を尊重し、大本山の尊厳維持に努めること。
- 3、会員相互の協調連絡を図り、その親和結束を固くすること。

発行所 總和会本部 〒 105-0002 東京都港区愛宕 2-3-4 大本山總持寺出張所内 Tel. 03 (3431) 5017

第142回 通常宗議会

令和4年度一般会計決算 歳入・歳出 46億9,791万6,137円  
経常部42億332万7,018円／臨時部 1億4,817万9,810円



大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌予修法要が国内9管区、国外4総監部において奉修されております。明年の大遠忌正当に向け、愈々機運の醸成が図られるものと期待するところであります。

令和5年6月26日から30日までの会期5日間の日程で、第142回通常宗議会が招集されました。令和4年度一般会計歳入歳出決算、令和5年度一般会計歳入歳出補正予算のほか、財務規程の一部変更案など、全ての案件を全会一致で可決致しました。

初日には曹洞宗管長石附周行紫雲臺猊下による開会式が厳粛に執り行われた後、昨年12月21日御遷化された前總和会会長・前宗務総長鬼生田俊英老師への追悼演説が行われました。また、服部宗務総長の演説においては、竣工から50年を迎えるソートビルの今後についての基本的見解を次回宗議会までに示したいとのお話がありました。2日目には、両会派の総括質問が行われた後、

上程された案件が各委員会に付託され、すべての議案が審議に入りました。3日目には、人権学習会も開催され、ハラスメント防止研修としてアンガーマネジメントについて学習を深めました。通告による一般質問16本（大本山總持寺系8本）、文書による質問3本（大本山總持寺系2本）。付託された上程案も慎重審議滞りなく進み、会期を1日残しての閉会となりました。



〔議決された議案〕

- ・ 令和5年度曹洞宗一般会計歳入歳出補正予算案（第1回）
- ・ 曹洞宗規程中一部変更案（曹洞宗財務規程中一部変更案）
- 上程された承認を求める件……令和4年度曹洞宗一般会計歳入歳出決算・令和4年度準備資金収支決算／令和4年度僧侶共済・寺院建物共済・育英資金・社会事業振興資金貸付等・護持会・不動産（建物）償却引当積立金及び不動産取得運用基金・特別積立金・修証義公布百周年記念育英基金・災害対策・図書印刷物等刊行・檀信徒会館、各々特別会計歳入歳出決算／宗教法人「曹洞宗」財産目録

鶴 一 聲

毎年十二月恒例、世田谷学園の臘八攝心に参加した時、広大なアリーナに並ぶ坐蒲が制服姿の生徒で埋まってく光景を見て驚いた記憶がある。遠距離通学が多く自由参加にもかかわらず、始業前の早朝から学業に部活動に忙しい中高生が駆け付け、慣れた様子で脚を組んでいく。参加者に無料で振る舞われる学食の朝粥だけが目当てではないだろう。首都圏では手狭な住宅事情もあって、仏壇のない家で育つ子供が増えて久しい。四月の入学式で合掌の指導を受けると面食らったような反応が見られる。それが七月の精霊祭で懇ろに祖先を敬う体験をし、両本山への拜登を通じて祖師の教えに触れる中で、禅風が思春期の身と心に自ずと染み渡っていく。宗教色には抵抗があるのではないかと懸念は杞憂で、むしろ生徒も保護者も将来に生きる精神的な背骨のようなものを学園生活から得ることを望んでいるように感じる。その拠り所を持つことは進学校であれスポーツ強豪校であれ私学にとって存在意義の生命線ともいえ、宗教性と距離を置くゆえに人間教育の羅針盤を欠く公教育との最大の差異でもある。チベット仏教のダライ・ラマ法王第十四世が来校すること三回。間近で聴いた講演の後、質問に並ぶ生徒で長い列ができた。節目の学校行事で校長の仏教講話も日常的に聴く。そうした記憶のかけらが宗内生のみならず、やがて社会の各界に進む卒業生の支えの一端となり周りに伝播していくことであろう。その意味で学校教育の現場は布教化の最前線として無尽蔵の可能性を秘めているのかもしれない。学園では三年後の創立百二十五周年記念事業の一環として校庭の人工芝化のほか、借金経営の時期に実現しらず悲願であった自習室や技術、ICT等の特別教室の整備をはじめとする新校舎建設に向けた検討が今秋以降本格化する。少子高齢化が加速する時代、難局に立ち向かう旃檀林の獅子が、質量ともに拡充された学舎から巣立つことを願う。

## 第142回通常宗議会 総長演説(要旨)

宗務総長 服部 秀世

本日、第142回通常宗議会がコロナ禍以前の形式で招集され開催することとなりました。

振り返れば令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため度重なる延期をするなどさまざまに配慮しつつ議会運営が行われてきました。現在新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではありませんが、3年間に及ぶコロナ禍で得た対応、対策を教訓として明日の宗門の構想を踏まえ、議事運営にあたる所存でございます。

さて、曹洞宗管長、大本山總持寺貫首石附周行猥下、大本山永平寺貫首南澤道人猥下におかれましては宗門の宣揚、宗門興隆のため諸事御教裁を賜り、誠にありがとうございます。

それでは始めに、大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌予修法要についてご報告します。この予修法要は、国内9管区、国外4総監部にて執り行われるものであります。現在までに国内4管区、国外2総監部にて報恩の法会が奉修されました。この後の予修法要においてもいずれもつつがなく圓成できますことを念願するとともに関係各位のご尽力にあらためまして心より感謝と御礼を申し上げます。宗門が一丸となり気運を高め報恩謝徳の道念を作興し令和6年の聖辰をお迎えいたしたく存じます。

次に今次内局の主眼といえる運営企画室の取り組みと現状について報告申し上げます。発足から約9ヶ月が経過し、主に宗務管理制度や管理会計の導入、宗務に関する様々な基礎データの収集などに取り組んで参りました。運営企画室の活動は見えづらい部分がございますが、まずは宗務庁という組織の体質、日々の仕事の進め方など根本から見つめ直し組織の土台作りマネジメント力の強化に取り組んでいるところでございます。

次に今次内局の目標として掲げました宗務行政のスリム化、適正化による宗門の活性化についてご報告申し上げます。現在あらゆる業務について初期の目的と役割、成果を再検証しております。一例として寺院福祉関係で僧侶寺族年金制度、僧侶共済制度、災害見舞金制度は支給する条件や内容の抜本的な見直しが必要と考えております。運営企画室から提供される具体的なデータやシミュレーションをもとに、内局、総務部福祉課と協議、検討を進め今次内局において実行に移したいと考えております。

梅花関係では、梅花流師範養成所につきましては、実情に鑑みて受講者の募集を一旦停止することも含め検討を進める考えであります。特派師範による特派講習会についても今のままの形態で良いのか抜本的な見直しが必要であると考えております。

人権擁護推進本部関係では管区役職員研修会などその方法も踏まえ見直したいと考えております。定期的に内局の会議において運営企画室の役職員、場合によっては所管部の責任者と協議を重ねていくことにより課題に取り組むよう目指して行くものであります。

次に過疎地寺院振興対策について申し上げます。今般、過疎地寺院振興対策室の取り組みは運営企画室へ引き継がれました。具体的に何を課題とし何に対して対策を打つか宗門における問題の中心軸を明確にし取り組んで参ります。

次にソーラービルの老朽化と檀信徒会館事業について申し上げます。令和6年に竣工50年を迎えるにあたり多額の修繕費用をかけビルを維持していくという判断を無条件に下すのではなく周辺の土地を含めた不動産の新たな活用方法等を検討してまいります。このことについては総合特別審議会へも諮問しておりここでの報告や答申も踏まえた上で次回宗議会までには内局として基本的な見解を示したいと考えております。

次に級階査定関係について申し上げます。次期級階査定につきましては本年3月末に専門部会より答申書が提出され級階査定委員会においても専門部会委員より詳細なる説明を受けました。急速な少子高齢化及び過疎化の拡大、社会情勢や景気動向の著しい変化、新型コロナウイルス感染症が及ぼした寺院収入の減少等を総合的に勘案した内容となっております。寺院の経済状況等を素早く捉えるため寺院財産申告調査の間隔の短縮化に言及する内容となっております。さらに申告調査の項目や調整配分等の検討も提起されております。今後については関係審議会等でのご意見も拝聴しながら関係規程を整備し次年度調査開始に向けて次期宗議会に変更案を上程する予定としております。

最後になりますが関連する諸案件並びに会計の決算につきましては後ほど所管部長より説明いたします。議員各位にはご審議の上ご賛同賜りますようお願い申し上げます。私の演説を終わらせていただきます。

## 鬼生田俊英前宗務総長追悼演説

宗議会議員代表 阿部 光裕

昨年の師走、連日厳しい冷え込みが続く年の瀬もいよいよ押し迫った21日の朝、6時を知らせる梵鐘の音が里に響く中、鬼生田老師は俄かに四大が解けて空に帰されました。世寿85歳。奇しくも法統を嗣続された4人のお

弟子さんの中の最後のお弟子さんが永平寺の瑞世拝登を終えられたその日でした。

常に先憂後楽を心掛けていた老師は、最後の住職地となつたいわき市四倉町海嶽寺の後継者をしっかりと育て

上げ、またひとつ憂いを消して旅立っていられました。

春と修羅の序に「すべてがわたくしの中のみんなであるように、みんなのおのおのなかのすべてです」とあります。72人の議員がいれば、72人の鬼生田老師が存在する中で、私が代表して追悼の言葉を申し上げますことは、私の中の鬼生田老師と向き合って述べることに他ならず、皆様のお許しを請い、しばしおつきあいをいただければと存じます。

老師は、世界中に暗雲が立ち込めこの国の未来を大きく左右する事件がいくつも勃発した昭和12年の2月13日、鬼生田家の二男として四方に高き産声を響かせました。百四歳の長寿だった母志けよさんの茶毘の時、親戚一同がその骨の太さに驚いたそうですが、あなたは強靱な体を親から譲り受け、スポーツは万能、ケンカもすこぶる強かったけれどなるべくせずに済むように柔道を覚え、特に絞め技を覚え、加えて知能指数も桁外れに高かったと、あくまで本人の談ですが、聞きました。

幼少の頃近くの川で不慮の事故に遭いお兄さんをなくされたことにより、10歳で仏門に入り、地元の高校から上京して進学を望んだ老師は、中央大学法学部に合格するも、戦後誰しもが辛酸を嘗める時代ゆえ、願い叶わず進学をあきらめ、昭和30年、三春藩主秋田家の菩提寺で自由民権運動の会場にもなった龍穩院の平林義光老師の元で立職し、同年釈尊成道の日に廣度寺二十五世鬼生田義俊老師の室に入って法を嗣ぎ、月窓明潭禪師開山の須賀川市長祿寺にて基礎を学び、海東禪窟の名をほしいままにした奥州仙台の輪王寺専門僧堂の日置五峰老師に参じて安居、続いて、加賀大乘寺に掛塔して澤木興道老師に隨身して素涯という号を頂戴し坐禅三昧の日々に徹し、大本山永平寺にて橋本恵光老師に親しく相見する機会を得て正法眼の神髓に触れました。永平寺の山門をくぐり且過寮に通された時、「そこで休んで待っていなさい」と言われたのでゴロンと横になって待っていたら強烈な罰策をもらったと笑っていましたが、老師ならさもありなんです。

錚々たる師家に参じて求道の時を重ねていた老師ですが、昭和36年本師義俊老師の遷化により廣度寺住職を受け継ぐこととなり、計6年に及んだ修行を終えて再び故郷の土を踏むこととなります。

当時の廣度寺は、日々の生活にも事欠くお寺であったと老師はよく仰っておられましたが、「学道の人先ずは須らく貧なるべし」のみ教えを身をもって味わった時代であったと言えましょう。言葉を換えればハングリー精神が老師の原動力となり、疾風迅雷の人生を送ることにつながったのだと私は思います。

輪王寺の修行時代にご詠歌と出会い、すっかり魅了された老師は一度凝りだしたらとことんやらずには収まらない性格ゆえにはまり、夢中になって詠道の研鑽を積み重ねました。20代で一山の住職となったものの、貧に窮した暮らしを打開すべく、当時福島ではあまり習慣のなかった月参りを生きる寄すがとして檀家さんをお願いして始めました。そこで読経の後にご詠歌をお唱えされた

そうです。当時としては画期的な布教であったと思います。それを聞いていたお檀家さんの中から習ってみたいという人たちがあられ、ご詠歌を教え始め、その数年後、梅花流が爆発的人気となりました。

後の正伝師範となられる梅花の人、鬼生田特派師範の始まりでした。

一方、僧堂修行に打ち込みつつも、抜け目のない老師は輪王寺安居中に、縁あって輪王寺幼稚園で寝泊まりし東北福祉大に通っていた鳥取生まれの田中富美子さん、後の鬼生田富美子さんに目をつけていました。狙いを定めた老師は、明らかに遠距離恋愛の末、金の草履を履いて奥様を射止めました。

この出会いがあってこそその老師の一生であり、短気で怒ると灰皿も飛んできたという夫を見事に支えてきた奥様がいてこそその廣度寺の繁栄であったと私は思います。

良き伴侶を得た老師に今度は望まざる不思議な機縁が生じます。知人の頼みで連帯保証人になっていた自動車学校が倒産寸前となり、その知人が突如姿を消してしまいました。ただでさえ楽ではなかった生活に借金を背負う憂き目に遭い、退くか否かの選択の中で進む道を選びそれまでネクタイを着けたこともなかった鬼生田青年実業家のスタートでした。

当時を振り返り、老師は「学校に行くと生徒より借金の取り立ての方が多く、経営者よりも組合の方が強い、どうにもならなかった」と仰っていましたが、不撓不屈の気概と有言実行の行動力を礎として倦まず弛まず勉強や努力を積み重ねた結果、高度成長の波に乗じて見事に再建をされました。

また、仏具屋を始めた知人に店舗を貸していた所、経営が思わしくなく、これも結局引き受け、仏壇仏具の専門店「鳳龍堂」を切り盛りすることとなりました。仲買を通さず仕入れることで少しでも安価に提供できるように工夫し、働く人の福利に心を傾けました。

広告代が高いなら広告代理の仕事も始め、自動車損保や火災保険の代理をすることにより、総合的に会社を牽引していく。微に入り細に亘って気を配り手を抜かない。その実業家としての才知を独学で身につけていった老師は、議員になるやいなや当時の宗務行政の雌雄であった大竹明彦、伊東盛熙元総長に見込まれて、檀信徒会館の再建に取り組むこととなりました。

実業家として縦横無碍の働きを示した老師は、同時に廣度寺再開山の称号に相応しい足跡を見事に遺されました。激務の間隙を縫って霊園の増設は重機を買い自ら動かす、慣れない作業でブルドーザーがひっくり返って亀の子のようになったこともあれば、軽トラを2台壊し、文字通り命がけで開発に努め、伽藍の整備は、隠寮、客殿、鐘楼堂、三門、導師寮を次々と新築し、接賓を改修し、曹洞宗福島県青年会と共同して板橋興宗禪師様を拜請して授戒会を修行し、その後本堂を再建し、坐禅堂を建設して、ついには七堂伽藍すべてを揃えるに至りました。

こうした徳行は檀信徒や地域の惜しまない尽力があっ

てこそではありますが、私財を投じることを惜しみなく、天を衝く志気を幾度も挙げて願行を完遂された老師はまさに稀有な宗門人であったと思います。

何もかもが同時進行で、八面六臂という言葉は老師にこそ相応しいと心の底から感じております。

しかし、思うに任せぬ人の世の常と申しましょうか、禍福はあざなえる縄の如しで、自動車学校は河畔にその城を構えていることもあって幾たびかの水害に遭い、東日本大震災・原発事故は老師が守り育ててきた人々の生活を一変させ、そしてコロナ禍は猛烈な勢いで社会を襲い、結果寺院の行持が衰退し、仏具屋の受注が減り、ホテル業界は未曾有の経営難を強いられることとなりました。

特に平成23年には最愛の伴侶であり、理解者であった富美子さんを亡くされました。病にその身を侵され、治療のために髪の毛が抜けていく中、「病院にいたら心も病んでしまう」とお寺に戻られ、頭髪を短くし作務衣を着、貞信尼の如く静かに寄り添っていた姿を老師は幾度も想い返しては深い悲しみに耐えながら、すべての公務にあたっていただくと感じます。

また、令和元年の台風19号による教習所全壊は、長男であり弟子である顕英師に経営のほとんどを譲ったとはいえ、自分の体がひきちぎられるような思いをされたことと思います。それは想像するに難しくなく、心労が重なり老師の体調にも異変が生じたのもその頃でした。

老師は齢60にて、この宗政壇上に登り、四半世紀の長きにわたって数多の重責を担い、宗門の棟梁として私たちを牽引されてきました。常に経験という裏付けがある言葉は重く、生きた言葉として語られました。

門外漢でもあったホテル事業の経営に関しては、地元のホテルを巡ってヒヤリングを重ね、鶴見病院の問題では本山護持の一点に絞って果敢に問題を追及し、次々と起こる被災寺院への支援の拡充に想いを廻らし、何よりも時代にそぐわない宗制を一気に改め、官僚主義の長短を見極めて効率化を進め、組織の改変に挑み、命を賭して宗制の改革に邁進されてきたことは衆目の一致する所であります。

老師の生涯は確かに咲いた大輪の花でありましょう。その花はこの後たくさんの実を結びやがて幾たびかの春秋を経てどのような花を咲かせていくのでありましょうか。

私は祈ります。あなたの蒔いた良き種が未来においてよりよき花として咲き誇る時のあらんことを。もし、悪しき種子あるとすれば、私たちの生き方によって、よき種、よき花へと変えていく。そのような力を議場の片隅から与えたまわんことを。

誰かのせいになれば容易いものを自分のせいにして幾度も立ち上がり、縁の糸を自分の手で手繰り寄せ、光陰を惜しみ、一心不乱にその生を駆け抜けた前宗務総長鬼生田俊英老師に私なりの惜別の言葉を弄し、これを饒の言葉とさせていただきます。



## 総括質問(要旨)

総和会代表 乙川良介

### 梅花流師範養成所について

梅花師範養成所の実情を鑑み、総長が示す受講者募集の一旦停止を含めた検討の結果、最悪の場合養成所の廃止につながるのではないかと危惧する。指導形態として完全な形に近い本庁における養成所を、各宗務所で行うことは不可能である。万が一廃止になれば宗務総長の指針第3番目中「それぞれの分野で資格を有する老壮青の人材を活用していく人材バンクの創設を希望する」ことに逆行するものではないか。また、一旦停止に向けた検討理由を、運営企画室における管理制度の導入とデータ分析から得た客観的な課題の提供と論じられたが、具体的にどのような意図と方法で進められているのか。

**答弁：**講員が減少しつづける要因は、布教方針か、指導方針か、時代のニーズに合わないのか、これら进行分析検証するために詠道課と運営企画室がデータを共有し検討する必要があるとしたもの。このデータは過去現在に至るまで、講・講員・入講・除籍数・教階補任や補命数の推移・各宗務所の講設置率等、本庁で初め

てリアルタイムに分析をした。これらのプロセスを経てブラッシュアップした課題を内局の中で協議していくものである。その意図するところは既存の制度や機構を含め、客観的に再検証し持続可能な事業のあり方と組織の再構築を目指すものである。師範養成所については、量から質への転換を図るべく制度改革に着手しなければならない時期がきたのではないかと。

### 布教伝道に関するアンケート調査報告書について

(新潟県第一宗務所梅花流詠讚歌推進プロジェクト委員会・新潟県第一宗務所梅花師範会企画検討委員会による)

全国奉詠大会や宗務所奉詠大会において、①有名な歌手や芸能人をよんでほしい。②その必要はない。③先生方の模範奉詠を聴きたい。④仏教法話が聴きたい…の中で、③と④が圧倒的に多かった。今後全国大会に反映されるべきではないか。また各梅花講に後継指導者がいない講が約80%で、このまま後継者なき場合閉講するが30%であった。同様の調査を全宗務所で行えば、講と講員減少の推移が読み取れるのではないかと。

**答弁：**③と④については、令和7年全国大会において検討させていただきたい。また指導者の減少は危機的状況にあるが、これを踏まえ全国の実態調査を最優先し新たな施策を構築しようとするものである。

### ソートービルと檀信徒会館について

令和2年2月第134回通常宗議会で、鬼生田前宗務総長はソートービル建て替えの意思を明確にされたが、令

和 5 年 2 月 第 141 回 通常 宗 議 会 で 服 部 宗 務 総 長 は ソー トー ビル 建 て 替 え の 可 能 性 は 途 絶 え た と 解 釈 で き る 発 言 を さ れ た が そ の 見 解 は。

また、総合特別審議会への諮問に対する答申を踏まえ、たうえで次回宗議会において基本的見解を示すとのことであるが、現在内局としての指針も示して頂きたい。

また、ソートービルの修繕費が向こう 20 年間で約 54 億 7 千万円との試算が出されたが、修理箇所の費用と内訳、修理箇所の優先順位をお示しいただきたい。

更に、特別積立金が 35 億 8 千万になる見込みだがその用途は。また、15 階バリアフリールームの東京都からの補助金を除き支出した約 3000 万円の償却を終える時期を示していただきたい。

**答弁：**ホテル事業を継続する前提でソートービル建て替えを考えたリニューアル計画は見直す必要があるということであり、今後はホテル事業の継続の是非を見極めながらソートービル基本構想を策定していかなければならない。

内局の指針については、これらに関する事項を総合特別審議会に諮問しているため、今の時点で具体的な指針を示すには困難な局面にある。尚、総合特別審議会の協議事項は、「ソートービルにおける中長期的な維持、管理及び活用に関する基本構想について」であり、第 1 に「ソートービル基本構想に関する専門部会」第 2 に「宗教法人曹洞宗の所有不動産の運用に関する専門部会」を設けそれぞれの調査結果を本年 12 月を目途に総合特別審議会から報告書の提出をお願いした。

修理箇所の費用と内訳は、建築関係… 8 億 7392 万円、電気設備… 9 億 459 万円、空調換気設備… 16 億 901 万円、給排水衛生設備… 9 億 4096 万円、搬送設備… 3 億 9049 万円、消火系設備… 4 億 111 万円、防災系設備… 3 億 4835 万円で、この中で修理箇所の優先度が高い設備は「非常放送設備」「熱源機器設備の蒸気ボイラー」「幹線動力設備」「配管設備」「空調機器設備」等ビル運営管理への影響が大きいものである。

特別積立金の用途は宗制にある通り、曹洞宗が所有する建物の建て替えに充てる為の積立資金である。また、バリアフリールームは今年 4 月から販売し始めたが、4 月 5 月の稼働率が 30% 弱、6 月は 40% を越えており、月平均 50 万円の売り上げで今後 5 年で工事費を回収できる見通しである。併せて多様な宿泊プランが提供できその付加価値によって他のプランへの集客効果に期待している。

#### 全国教区における教化活動と予算付について

施策目標 4 番目の「ポストコロナの新たな教化方針として、寺院地域を基盤とする教化と、宗教者自身が社会のさまざまな現場に飛び込んで活動する」ということに対し、多くの知識と布教教化のノウハウの蓄積がある僧侶や寺族が現場にアウトプットできる機会を惜しまないために、全国 774 教区に 1 教区あたり 10 万円の活動補助

金 7740 万円の予算化を望む。

**答弁：**各宗務所に布教委員会が組織され、教区長・宗務所布教師・教化指導員等が教区の布教活動に従事しており、その事業経費は宗費をもって支弁しているが、各組織の連携による柔軟かつ弾力的な教化展開が求められる。

#### 《『伝光録』に学ぶ瑩山さまの教え》について

2019 年から 2023 年の 4 年間、曹洞宗報付録「てらスクール」に連載されたが、来年迎える瑩山禅師七百回大遠忌の象徴の一つとして、一冊子にされるよう予算化をお願いしたい。

**答弁：**大遠忌の配布物として一般会計で作製するのが適当か、頒布物として図書会計で作製するのが適当か、それらの可否を含め検討したい。

#### LGBT 理解増進法に関する宗門の関わり方について

この法案の成立により、個人が主張する性別の権利が大きく認識されることとなった。専門僧堂等の受け入れにおいて性別を堂則によって判断することができなくなったのでは。また、僧籍登録証交付申請に記入する戸籍上の男女二者択一及び四衆制の男女二者択一についてはいかがか。

**答弁：**大半の僧堂は性別による志願制限を設けておらず、戸籍上の性別と性自認との一致がなされなくても掛搭志願することができる。トランスジェンダーの方が宗内資格取得上の不当な差別的取扱を受けることがあってはいけない。

僧籍登録については、男女いずれかの区分であり何かを優先しているものではない。伝統的な四衆区分けは、曹洞宗における全ての儀礼や信仰において必須とはいええず、宗門として統一見解を示すべく総合研究センター等と協議検討を進めていかなければならない課題である。

#### 宗教 2 世問題について

統一教会等カルト問題の急浮上により、宗門内檀信徒の青少年の中にも宗教 2 世の被害者がいるかもしれないがその場合どのように救済するのか。

**答弁：**令和 3・4 年度の現職&寺族研修において「曹洞宗における信心に関する諸問題」として新宗教やカルトの問題を取り上げ理解と周知を進めている。一方、坐禅や菩薩行の実践の信仰価値を確認し普及敷衍も検討していく。



# 通告質問(登壇順)要旨



第13区 立身 一徳

### 兼務住職の任期の根拠と再任の 手続きを怠っている寺院について

答弁：昭和27年3月3日曹洞宗寺院住職任免規程の施行時からである。手続きを怠っている寺院へは宗務所から当該寺院宛に手続きの依頼をしている。



第31区 佐藤 清廉

### 超高齢化社会における責任役員、 干与者任期について

答弁：近年、認知症を理由とした役員退任の相談も増えている。具体的事例に応じた対応をしているが、日頃より役員各位と連絡を密にして手続きを行ってほしい。



第8区 清泉 文英

### 運営企画室の進捗状況について

答弁：宗務管理制度の導入や情報の収集・公開に取り組んでいる。職員とも積極的にコミュニケーションを図り目標の共有を進めている。

### 檀信徒会館の運営状況について

答弁：昨年11月より黒字転換している。15階ユニバーサルルームの販売を開始しており稼働率も収益も上がっている。檀信徒会館利用の周知を皆様をお願いしたい。



第1区 岩本 一典

### 宗門の防犯対策について

答弁：寺院を狙った広域連続窃盗があったことに鑑み、情報把握と警戒の呼びかけなど宗務所と共有を密にしてゆく。防犯対策における共通指針や注意喚起を早急に検討する。

### 曹洞宗手帳について

答弁：作成配布の歴史は概ね70年ほどになる。手帳利用状況のアンケートを実施している。



第20区 甘蔗 英司

### 災害見舞金制度と災害援護拠金の増額について

答弁：宗門寺院全体で被災寺院を援助する「相互扶助」の精神に基づいて運用することが前提な制度であり、昨今の自然災害が多発する全地球的環境の変化に鑑み総合的な検討をすすめる。



第32区 奥村 孝善

### 自然災害で被災した場合の手続きについて

答弁：曹洞宗ホームページにて常に公開している。寺院のための手引き書の参照も願いたい。今後も周知徹底をしてゆく。

### 現職研修会の講義内容について

答弁：現職研修会のカリキュラムは各宗務所において独自に設定できる枠がある。宗務所が充実した研修を行えるように議員各位にも協力をお願いしたい。

### 梅花服の見直しについて

答弁：昭和45年に発表された梅花服であり、これまでに何度か検討の機会があったが実現していない。梅花流の活性化につながる施策の検討を進める。



第3区 荒井 裕明

### 特別会計の事業評価と資産運用について

答弁：今次内局ではあらゆる業務の再検証に取り組んでいる。特別会計の制度や業務は規模が大きく規定変更なども伴う際には関係する部署とも協議を重ね各種審議会にて検討する。また、運用によって得られた果実は適切かつ柔軟に活用できるように検討を重ねてゆく。



第29区 高橋 英悟

### 超高齢化社会の到来を踏まえた教化施策について

答弁：宗務総長演説における施策目標を実行可能な形へ落とし込むべく各部署が協働し、重点施策を確実に実行するために優先順位を設けて中長期の工程表の作成に順次取り組む。

### 外国人僧侶の僧堂安居について

答弁：海外からの安居希望者に対して必要な手続きを手篤くサポートしている。曹洞宗の教師となるために一人でも多くの海外の僧侶が日本の僧堂に修行に来ることは非常に望ましい。海外の僧侶が日本の僧堂に安居して教師補任を受けることは奨励するところであり、さらなるサポートを模索する。

# 文書質問(要旨)

石附 正賢(第4区 群馬・栃木県選出)

### 「僧堂」と「教師養成機関としての学校」それぞれ連携・交流を含めた教育内容を模索する必要があるのでは

回答：教学部所管の事業として、僧堂と学校との仲介役を、僧堂に対しては学校から要請があった場合はできる限りの人材派遣をし、また、学校に対しては、行学の根本を担う僧堂からあるいは教化の前線である寺院住職から候補者を選定してはどうか、といった提案することについて、今後検討する。

### 両大本山で行われる大遠忌法会・授戒会等の法要随喜実績を教師昇等補任の要件、並びに経歴審査の評価に加えて頂けないか

回答：規定変更が必須の事により、慎重なる審議を要する。随喜にあたり辞令・委嘱状等が発行されるにあたり、教師分限規程と同等の要件として反映できるよう、今後検討する。

檀信徒会館の損益分岐点となる売上高はどのくらいか、その際、客室稼働率のパーセントはどの位か、過去5年間の稼働率も回答を

回答：これからの売上高(宿泊・宴会・レストラン・賃貸料収入)は、年間9億1,200万円(月間7,600万円)と試算し、その際の客室稼働率は約80%です。過去5年間は平成30年度81.7%、平成31年度72.4%、令和2年度15.2%、令和3年度30.9%、令和4年度54.2%です。

岩井 秀弘 (第28区 宮城県選出)

機構改革、スリム化を進めるにあたり、財政面での予算削減の目標値及びどれ位のパーセントを想定しているのか。また、業務細分化の進捗状況は。管理システム等について職員全体へ理解・協力を得られるようコ

ミュニケーションをとられているのか。また、統廃合について具体的な構想はあるのか

回答：施策目標の宗務行政スリム化に関連して、予算規模の見直しを検討しているが予算削減の目標値を定めている段階にはない。業務細分化については、各部署の業務の分類、定義づけなどが一旦は完了し、企画室による宗務管理制度の導入が進んでいる。宗務庁役職員への説明をしているが、今後1年から2年程度かけ理解を深め定着させていく。

部署の統廃合について、現在構想はないが業務・組織体質の見直しの先には、継続性がなく表面的な見直しに終わってしまう。役職員の理解のもと、業務・仕事の見直し積み上げていくことが肝要であり、組織編成の見直しには時間を要する。

第142回 通常宗議会常任・特別委員 (總和会議員)

副議長 五十嵐靖雄

長…委員長 主…主査

○ 運営委員会

主 服部 直哉 田中 清元

○ 予算委員会

大坂 恵司 主 清泉 文英 主 平岩 浩文  
高橋 英悟 立身 一徳

○ 第一決算委員会

須田 孝英 成田 隆真 藏山 大顕  
主 片山 昌佳 福田 光昭 主 佐藤 清廉  
伊藤 哲雄

○ 第二決算委員会

橋本 壽幸 中村 見自 長 伊藤 弘隆  
嶽盛 和三 岩井 秀弘 主 甘蔗 英司  
主 岩本 一典 内山 正也

○ 請願委員会

長 岡 芳雄 主 森 元亨 乙川 良介

○ 懲罰委員会

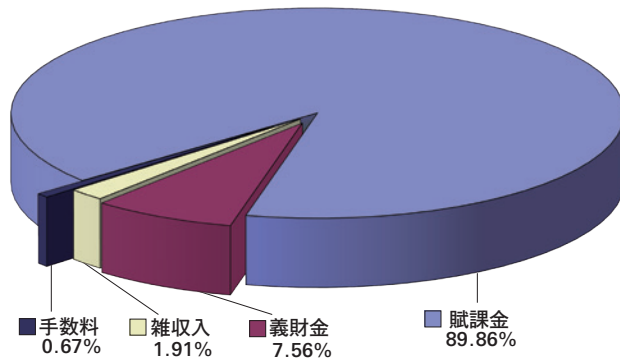
主 奥村 孝善 石附 正賢

○ 特別委員会

長 山本 健善 主 坂本 泰俊 荒井 裕明

令和四年度曹洞宗一般会計歳入・歳出決算

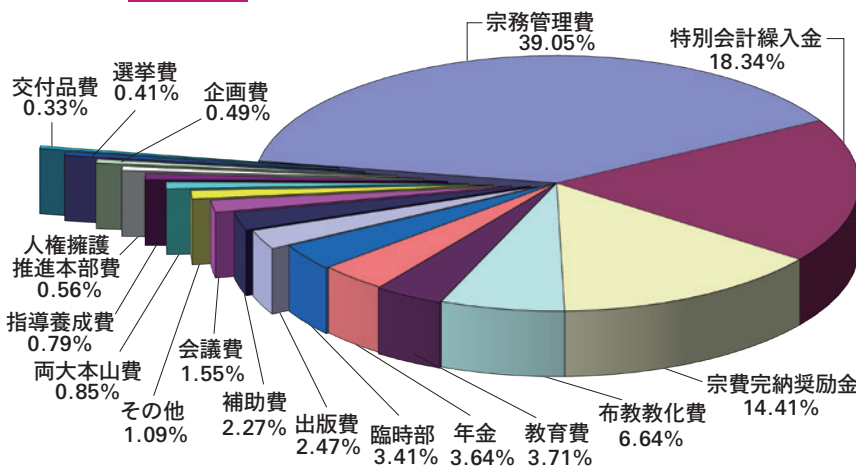
歳入 4,697,916,137 円



内訳

Table with 2 columns: 歳入, 歳入額. Rows include 賦課金, 義財金, 雑収入, 手数料.

歳出 4,351,506,828 円

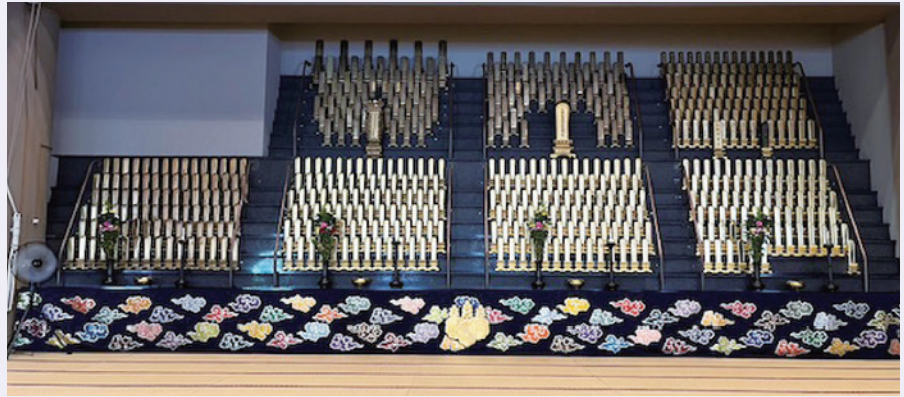


内訳

Table with 2 columns: 歳出, 歳出額. Rows include 宗務管理費, 特別会計繰入金, 宗費完納奨励金, 布教教化費, 教育費, 年金, 臨時部, 出版費, 補助費, 会議費, その他, 両大本山費, 指導養成費, 人権擁護推進本部費, 企画費, 選挙費, 交付品費.

### 大本山總持寺へ謹納

太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌記念として、總和会より御真殿、大祖堂両序の打敷を謹納させて頂きました。



## 四 部 会 報 告

令和5年5月11日(木)、12日(金)の両日にわたり、檀信徒会館において四部会を開催。会長諮問事項である「機構改革」「總和会会則変更」について各部会に分かれ議論された。議員・支部長各位には、總和会ホームページの専用ルーム「四部会」に会議録を掲載させて頂いておりますのでご覧下さい。

### 總 和 会 会 務 報 告

期 日	会 務 内 容
(令和5年)	
3月30日	支部長幹事・内局・執行部意見交換会
4月24日	北海道支部総会
4月25日	鹿児島・沖縄支部総会
5月1日	静岡東部支部総会
5月11日～12日	四部会
5月15日	京都支部総会
5月17日	岩手支部総会
5月18日	福島支部総会
5月18日	青森支部総会
5月22日	鳥取支部総会
5月29日	岐阜支部総会
6月5日	九州ブロック大会
6月9日	三重支部総会
6月22日～23日	関東ブロック大会
6月25日	執行部会 顧問・執行部会 幹事会 幹事評議員会
6月26日	全国支部長会議
6月30日	神奈川東部支部総会

※ブロック大会について、中止または延期となった大会は記載してありません。  
※支部総会について、本部にご案内頂いた総会を記載させて頂きました。

## 第30回總和会全国大会

併修 總和会主催

太祖瑩山禪師七百回大遠忌予修法要

◇令和5年11月6・7日(月・火)

◇会場・大本山總持寺・  
曹洞宗檀信徒会館

## 新 議 員 紹 介



第27区 福島県 第343番  
西勝寺 伊藤 哲雄

3月14日宗議會議員に就任しました。素より浅学菲才の身、未熟ではありますが、宗務行政に誠心誠意努めて参ります。宜しくお願いします。



總和会ホームページ  
<http://souwakai.info>

編集・石附正賢 平岩浩文 高橋英悟 岩本一典  
立身一徳 内山正也



## SOTO保険サポート株式会社

〒105-8544  
東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁第1分館3F  
電話:03-3454-3547  
FAX:03-3454-3575  
MAIL:soto-hoken@soto-support.jp

※社名が変わりました。(旧:芝園不動産管理株式会社)

お寺の保険の見直しやご相談お気軽にお問い合わせ下さい!!

火 災

自動車

傷 害

賠償責任

サイバー  
セキュリティ

生命保険

退職金準備

《取扱保険会社》三井住友海上火災保険(株)・損害保険ジャパン(株)  
東京海上日動火災保険(株)・AIG損害保険(株)  
あいおいニッセイ同和損害保険(株)・三井住友海上あいおい生命保険(株)

ご相談は無料です!